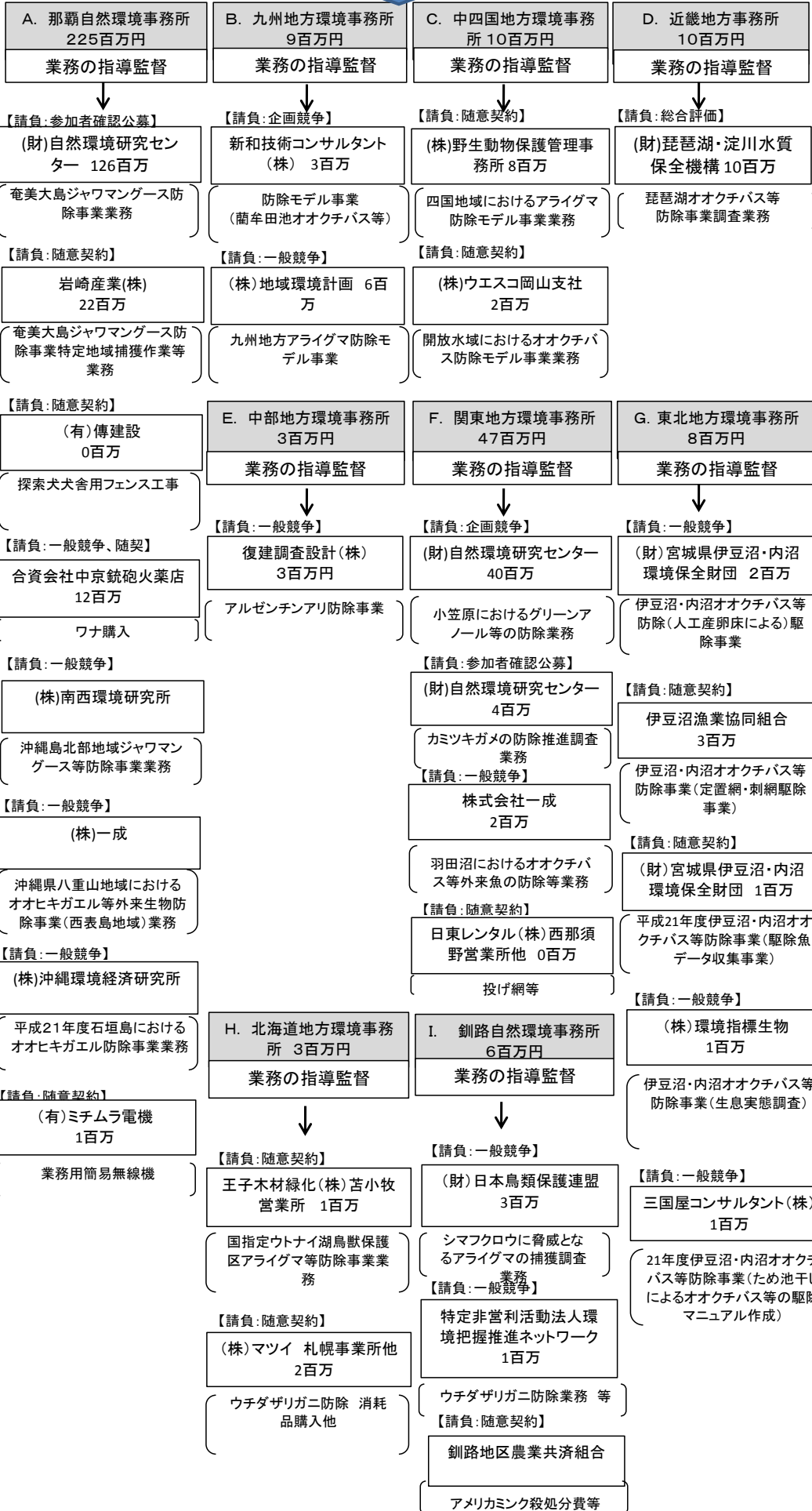


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	特定外来生物防除等推進事業	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部署	自然環境局	担当課室	外来生物対策室	室長 牛場 雅己		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性保全等推進費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 第11条	関係する計画、 通知等	生物多様性国家戦略2010(H22.3.16閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	特定外来生物を防除することにより、生態系等への被害を防止する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	希少種の生息地域や国立公園など我が国の生物多様性保全上特に重要な地域において特定外来生物の防除を行い生態系等への被害を防止するとともに、全国的に分布し被害を発生させている特定外来生物について、各地域の行政機関、民間団体及び地域住民が連携して防除を行えるよう、防除モデル事業により防除技術や実施体制について検討を行う。					
実施状況	アマミノクロウサギやヤンバルクイナなど多くの固有種が生息する奄美大島及び沖縄本島やんばる地域から、世界自然遺産登録に向け、平成26年度末までにジャワマングースを完全排除することを目指した防除事業を実施。奄美大島では、約220万わな日(わな数×設置日数)の捕獲作業を行い、約600頭を捕獲。やんばる地域では環境省と沖縄県が協力して事業を実施しており、環境省は希少種生息核心地域(やんばる北部)での捕獲、沖縄県は北上防止柵設置とやんばる南部での捕獲による希少種生息核心地域への侵入防止を実施。これらの両事業をあわせ、やんばる地域全体で約118万わな日の捕獲作業を行い、約390頭を捕獲。奄美、沖縄とも捕獲努力量あたりの捕獲数が年々減少しており、マングースの生息密度低下が示唆される。また、マングースが低密度化した際に効率的に捕獲できるようマングース探索犬の育成やモニタリング技術の開発などを実施。 この他、世界自然遺産への登録推薦を行っている小笠原において在来の絶滅危惧種に被害を及ぼしているグリーンアノールの防除や西表へのオオヒキガエル侵入防止など国立公園における特定外来生物対策、アライグマ等の防除モデル事業を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	349	328	327	349	380
	執行額	349	317	321		
	執行率	100%	97%	98%		
	総事業費(執行ベース)	349	317	321		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	特に予算規模の大きい奄美大島等におけるジャワマングース防除事業については、年2回の有識者と地元関係者から構成される検討会を開催し、事業内容の評価・検討を行っている。この他にも、小笠原におけるグリーンアノール防除事業では、小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会及び小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議において事業実施状況の報告と意見聴取を行っているなど、用途の把握水準は確保されている。				
	見直しの 余地	希少種の生息地や世界遺産候補地等、国レベルで生物多様性保全上重要な地域のうち、特に優先度が高い地域等で特定外来生物の防除を実施しているものであり、根絶に向け生息密度が低減しても、いったん捕獲努力を緩めてしまえば個体数が回復してしまうことから、事業の継続的な実施が必要。引き続き、事業の進捗状況を随時把握し、これを踏まえた効率的な事業の展開を図る。 具体的には、ジャワマングースの生息密度の低減化が図られ、従来の捕獲方法では効率的な捕獲が困難になってきていることを受け、H23年度から低生息密度において効率的な防除手法を導入すること等により、より効率的に事業を実施する。				
予算監視の 効率	一部改善 (平成23年度から導入するジャワマングースの防除手法について重点的に事業を実施し、継続して実施する事業については、これまでの成果を踏まえより効率的な事業実施に努めるべき。)					
補記						

7地方環境事務所・2自然環境事務所 327百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 那覇自然環境事務所			F. 関東地方環境事務所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成21年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業業務	126	雑役務費	小笠原におけるグリーンアノール等の防除業務	40
雑役務費	平成21年度奄美大島におけるジャワマングース防除事業特定地域捕獲作業等業務	22	雑役務費	カミツキガメの防除推進調査業務	4
雑役務費	平成21年度探索犬犬舎用フェンス工事(奄美野生生物保護センター)	0	雑役務費	羽田沼におけるオオクチバス等外来魚の防除等業務	2
雑役務費	平成21年度筒式イタチ捕獲器(特注改良型)1,000個の製作・納入業務	3	物品購入費	投げ網等	0
雑役務費	平成21年度踏み板式生け捕りトラップ1200個の納入業務	3	計		47
雑役務費	平成21年度筒式イタチ捕獲器(特注改良型)180個納入業務	1	G. 東北地方環境事務所		
雑役務費	平成21年度筒式イタチ捕獲器(特注改良型)1600個の製作・納入業務	5	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成21年度沖縄島北部地域ジャワマングース等防除事業業務	58	雑役務費	平成21年度伊豆沼・内沼オオクチバス等防除(人工産卵床による)駆除事業	2
雑役務費	平成21年度沖縄県八重山地域におけるオオヒキガエル等外来生物防除事業(西表島地域)業務	1	雑役務費	平成21年度伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(定置網・刺網駆除事業)	3
雑役務費	平成21年度石垣島におけるオオヒキガエル防除事業業務	3	雑役務費	平成21年度伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(駆除魚データ収集事業)	1
備品費	業務用簡易無線機4台	1	雑役務費	平成21年度伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(生息実態調査)	1
計		225	雑役務費	21年度伊豆沼・内沼オオクチバス等防除事業(ため池干しによるオオクチバス等の駆除マニュアル作成)	1
B. 九州地方環境事務所			消耗品費	消耗品購入	0
費目	使 途	金 額 (百万円)	計		8
雑役務費	防除モデル事業(蘭牟田池オオクチバス等)	3	H. 北海道地方環境事務所		
雑役務費	九州地方アライグマ防除モデル事業	6	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		9	雑役務費	国指定ウトナイ湖鳥獣保護区アライグマ等防除事業業務	1
C. 中国四国地方環境事務所			物品購入費	ウチダザリガニ防除 消耗品購入 他	2
費目	使 途	金 額 (百万円)	計		3
雑役務費	平成21年度四国地域におけるアライグマ防除モデル事業業務	8	I. 釧路自然環境事務所		
雑役務費	平成21年度開放水域におけるオオクチバス防除モデル事業業務	2	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		10	雑役務費	シマフクロウに脅威となるアライグマの捕獲調査業務	3
D. 近畿地方環境事務所			雑役務費	釧路湿原ウチダザリガニ防除事業	1
費目	使 途	金 額 (百万円)	雑役務費	アメリカミンク殺処分費等	0
雑役務費	平成21年度琵琶湖オオクチバス等防除事業調査業務	10	計		6
計		10	H.		
E. 中部地方環境事務所			費目	使 途	金 額 (百万円)
費目	使 途	金 額 (百万円)			
雑役務費	アルゼンチンアリ防除事業	3			
計		3			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。使途と費目の双方で
 実情が分かるように記載)